

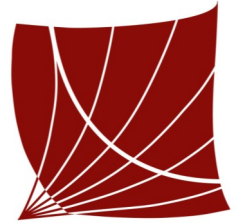
はらはちぶ

第96号

発行日平成20年6月1日

脳卒中診療ネットワークと地域連携パス

副看護部長 上園恵子



「地域連携クリニカルパス」とは、病状の急性期から回復期を経て早期に在宅復帰ができるよう、治療を行うすべての医療機関が共有して使用するツール（診療計画書）です。

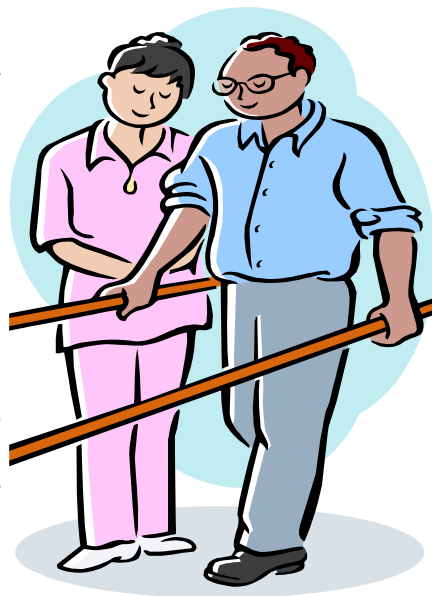
東近江保健医療圏では、昨年の12月から東近江保健所が中心となり、“脳卒中地域連携パス”導入に向けての取り組みを開始し、12月17日から地域連携パスが医療圏内で動き始めました。急性期病院として、湖東記念病院、近江八幡総合医療センターの2か所、回復期病院として、近江温泉病院、ヴォーリス記念病院、東近江市立蒲生病院、東近江敬愛病院（当院）の4か所、維持期の病院として、神崎中央病院、青葉病院の2か所があります。

患者さまが安心して治療を継続して受けられ在宅に帰られるよう、診療にかかわる複数の医療機関がそれぞれの役割分担を果たし、入院時から患者さまに診療内容を説明し、転院・退院に向けての方向性を話し合います。

在宅復帰に向けての働きかけとしては、開業医の先生方（かかりつけ医）との連携を密にするとともに、ケアマネジャーや訪問看護、訪問リハビリ、訪問介護などの職員の皆さんとの情報交換や利用連携を行います。

当院では現在まで3例のパス患者さまがおられ、1人目の方は在宅復帰で現在往診・介護サービス・訪問リハビリを受けておられます。2人目の方も在宅復帰をされ、現在当院リハビリ・外来に通院中です。リハビリ終了後は近くの診療所にかかれる予定です。3人目の方は現在入院中でリハビリを継続しており、在宅へ向けてのアプローチをしているところです。

今後も引き続き、地域連携パスを活用しながら「患者さまに安心してもらえる医療」を目指して地域連携の輪を広げていきたいと考えております。



目次:

脳卒中診療ネットワークと地域連携パス	1
“後期高齢者医療制度”に思う	2
「看護週間」イベント開催	3
ピラティス PART 4	4
お知らせ 院内講演会	5
編集後記	6

日本医療機能評価機構認定病院
救急指定病院

東近江敬愛病院

電話 0748(22)2222
FAX 0748(22)2221
<http://www.keiaikai.or.jp/>

発行責任者：広報委員会

「後期高齢者医療制度」に思う

事務次長 長谷出 浩

「後期高齢者医療制度」は、昨年の医療法改正によって導入が決められ本年4月からスタートしました。（後期高齢者とは、75歳以上の方を指します）後期高齢者（75歳以上）は加入していた国保や健保を脱退し、後期高齢者だけの独立保険（「後期高齢者医療広域連合」）に組み入れられます。従来の制度との大きな違いは、家族に扶養されている人を含め、すべての後期高齢者が保険料の負担を求められ、大多数が“年金天引き”で保険料を徴収されることです。保険料額は条例で都道府県ごとに決められますが、全国平均で年72,000円（月々6,000円）です。今までであれば扶養家族の場合は保険料は徴収されていませんでしたが、この制度により75歳以上の方は、年金から毎月保険料が天引きされます。しばらくは経過措置がとられますが、介護保険とあわせると、一人当たり月々10,000円以上の保険料を支払うこととなります。また、従来75歳以上の高齢者は、障害者や被爆者などと同じく“保険料を滞納しても、保険証を取り上げてはならない”とされてきましたが、今回の改正により滞納者は保険証を取り上げられ、短期保険証・資格証明書を発行されることになりました。また、保険料は2年ごとに改定されますが、後期高齢者の医療費の10%を保険料でまかなうことになっており、後期高齢者の数が増えるのに応じて自動的に保険料が引き上がることにもなります。今のままの制度で行けば、将来的には保険料がかなり高額になる計算になります。

従来の老人保健法では、被保険者の年齢や窓口自己負担の引き上げなどを行う制度改正を行って対応してきましたが、なおも増え続ける高齢者医療費の財政負担を抑制するために設けられたのが「後期高齢者医療制度」です。この制度が始まり、保険料を支払うことが苦しい高齢者の報道が毎日のようにあります。年金生活をされている方の負担は大変なものです。“生活の糧”である年金から直接天引きされるのですから。診療報酬も“包括払い”が検討され、高齢者に多い“慢性疾患”では医療への制限も考えられます。私達も、高齢者になって病気を治療するのに制限があるようでは将来が不安になります。道徳的にも、老人は大事にするものと教育されてきましたが・・・。

- ・ 人の年齢に、前期や後期が存在するのでしょうか？
- ・ 扶養家族は従来支払っていなかった保険料を、75歳以上になってから支払わすのですか？
- ・ “高齢者の医療費抑制”より他の政策で抑制できるものがあるのでは・・・？
- ・ 年金問題も未解決なところが多いのに、そこから天引きするとは？

何だか問題の多い改正のような気がします！

『看護週間イベント』を 5月16日・17日に、開催しました。

東近江敬愛病院 看護部

「看護の日」とは。。

21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を老若男女を問わず、だれもが育むきっかけとなるように、市民・有識者による「看護の日の制定を願う会」の運動がきっかけとなり、5月12日は近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、旧厚生省により、「看護の日」が1990年に制定されました。この日を含む日曜から土曜日までを「看護週間」としています。

当院でも、5月16日、17日の2日間にわたり、地域住民の皆さんの健康チェックを実施致しました。内容は血圧・血糖・体脂肪率・骨密度測定です。管理栄養士による栄養相談、看護師による健康相談コーナーも設けました。また、「正しい手洗い方法」の体験コーナーも設けました。小さいお子様をお持ちになるお母さん方には特に関心が高いようでした。

開催期間中、134名の方に御参加頂きました。メタボリックシンドロームなどへの関心もやはり高く、ダイエットに関する相談を多くお受けしました。

毎年開催しておりますので、待ち望んで頂いている皆さんもおられ、「楽しみにしていました」と声をかけて下さいました。

今後もこのような機会を設け、地域住民の皆さんとのふれ合いを大切にしていきたいと思っております。



職員一同、地域の皆様に信頼される病院創りを進め、安心して頂ける看護（介護）の提供ができるよう努力してまいります。

今後ともよろしくお願い致します。

ピラティス PART 4

～太ももの引き締め～

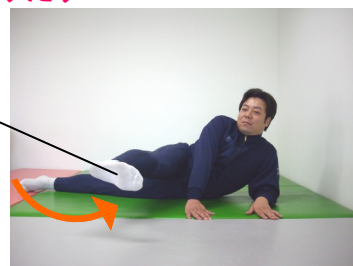
①左のわき腹を下にして横になり、両膝を伸ばす

Point:
脚は体よりも
少し前になる
ように



③そのまま右脚を蹴り出す

Point:
かかとを前に向
けて蹴るよう
にしましょう



②息を吸い右ひざを曲げる。



④息を吸いながら③の状態から蹴るように、そのま
ま右脚を後ろへ伸ばす。前後で1セットとし、10
回行ったら、逆の脚も同じ回数行う。

Point:
つま先は
伸ばしましょう



お知らせ

東近江敬愛病院では、地域の皆様の健康増進に少しでもお役に立ちたいとの願いから、以下の内容で講演会を実施致します。講演会への参加については、予約・参加費等は必要ありません。どなた様でも参加できます。多くの皆様の御来場をお待ちしております。

日時 : 6月28日 (土) PM3:00 ~ 4:00

場所 : 東近江敬愛病院 1階外来待合室ロビー

テーマ : 「高血圧症について」

講師 : 野田 信一 (東近江敬愛病院 循環器内科医長)

編集後記

東近江敬愛病院

<http://www.keiaikai.or.jp/>



中国で大きな地震があり多くの人が犠牲になりました。「地震・雷・火事・親父」という世の中の怖いものを例えた“ことわざ”がありますが、自然災害の恐ろしさを改めて思い知らされました。日本でも近年では、阪神淡路大震災や新潟地震などが記憶に新しいところです。私もテレビなどを観ながら、ついつい他人事のように思っていますが、いつ・どのような災害にみまわれるかは誰も予測出来ない事です。最近、大規模な災害に備えたマニュアルが整備されていますが、「備えあれば憂いなし」とまでは行かないかもしれません。

人生には予測不可能なことは沢山ありますが、このような大災害が起きないように願うしかありません。今回被災された皆さんには、心からお見舞いを申し上げます。

(文章：坂田)